

アルゼンチン デジタルガバナメント戦略 10 月

[VE センター](#)

1. 背景

・基本データ アルゼンチン共和国 Argentine Republic - [ジェトロ \(jetro.go.jp\)](http://jetro.go.jp)

国土： 279 万 1,810 平方キロメートル（日本の約 7.4 倍）

人口： 4,581 万人（2021 年予測値）（日本の約 3.6 分の 1）

出所 アルゼンチン国家統計センサス局（INDEC）

政治体制： 立憲共和制

一人当たり名目 GDP： 8,555 ドル（2020 年）（日本： 40,146 ドル 2020 年）

名目 GDP 総額： 3,883 億ドル（2020 年）（日本： 50,487 億ドル 2020 年）

[国連の世界幸福度ランキング 2021 年版](#)： 47 位（95 ケ国中）

[E-Government Development Index \(EGDI2020 年\)](#)： 32 位（193 ケ国中）

[OECD Digital Government Index \(DGI\): 2019](#)： 31 位（33 ケ国中）

アルゼンチン共和国^[3]（[スペイン語](#): República Argentina）、通称アルゼンチンは、[南アメリカ](#)南部に位置する[連邦共和制国家](#)である。

西と南に[チリ](#)、北に[ボリビア](#)・[パラグアイ](#)、北東に[ブラジル](#)・[ウルグアイ](#)と国境を接し、東と南は[大西洋](#)に面する。

[ラテンアメリカ](#)ではブラジルに次いで 2 番目に領土が大きく、世界全体でも第 8 位の[領土面積](#)を擁する。首都は[ブエノスアイレス](#)。

2.戦略 1.デジタルガバナメント体制づくり（2018-2022）

紙の行政システムをデジタルの行政システムにする。

[Por la cual se expide el Plan Nacional de Desarrollo 2018 – 2022](#)

2015 年から 2018 年にかけてアルゼンチンで実施された[で電子政府プログラム](#)は、当初は、[近代化省](#)、後には内閣官房長官の後援を受けて実施されましたが、デジタル政府政策立案者が検討すべきいくつかの教訓をもたらしています。近代化とは、国家をより効率的にし、市民のニーズに応えられるようにすることを意味してました。1300 人の公務員で構成される近代化省は、このアジェンダを実施しました。

そのアジェンダは以下マクリ大統領の近代化プログラムが中核となるテーマとなっています。

- ・よりダイナミックでアジャイルな公共部門の創設
- ・新たなリーダーシップの創出や若い人材の獲得を含む公共サービスの専門化
- ・入札など、公共部門のプロセスの透明化
- ・デジタルサービスの向上により、国家と市民の距離を縮小
- ・行政機関の情報へのアクセスを保証することで、市民と政府のより良い関係の促進

そして、図 1 のように実施されたプロジェクトの成果を以下にしめします。

2015 年から 2018 年までのデジタル政府の主な成果



図 1 開発実施データ

- ・ 70%の州が[国家の近代化のための連邦政府公約](#)に署名
- ・ [17回のグローバル・オープン・データ・インデックス](#)において、アルゼンチンは54位から17位に上昇
- ・ アルゼンチンは2018年の[e-Gov ランキング](#)で43位になった。
- ・ [Mi Argentina プラットフォーム](#)は240万人のユーザーを獲得
- ・ 780の市民サービスが作成され、13,000のアプリがオンラインで利用可能になった。
- ・ 多くのアプリや機関でデジタル署名が可能になった。
- ・ 全国で300以上のデジタルセンターが設立された。
- ・ [50以上の自治体のウェブサイト](#)が開設された。
- ・ [7,500以上の行政手続きのガイドがオンラインでアクセスできるようになり](#)、遠隔医療相談などのサービスも利用できるようになった。
- ・ 公共部門の求人情報の[一元化されたウェブサイト](#)。
- ・ 幅広い公共機関から[70以上のデータセットが利用可能に](#)
- ・ オンラインで1日で完了するビジネス登録

これが以下の2019-2030のデジタル政府案となりました。

[From City to Nation: Digital government in Argentina, 2015-2018](#)

ビジョン：ローカルからナショナルへのスケールアップへの挑戦を理解する。

1. スケーラビリティ、多様化の評価をする。
2. どこから学ぶかを慎重に選ぶ。アルゼンチンは当初、米国と英国のモデルを参考にしていた。
3. どこから始めるか、なぜ始めるかを決める。
4. 改革のアジェンダを明確に示す。
5. 政治的支援を可能な限り広く分散させる。
6. 政治的・経済的状況が変化する中で、モメンタムを維持する。
7. より広範な実践の場への参加する。
8. ユーザーニーズの先にあるものを読む。
9. 才能を維持し、バーンアウトを回避する。
10. 実施中に成功を測る。

3.戦略2：デジタルガバメント体制づくりの評価（2018-2020）

開発方針のチェック

[電子政府とオープンデータの指標](#)

電子政府の観点から見ると、アルゼンチンは2018年版の国連電子政府指数で、アメリカ大陸の35カ国のグループの中で、アメリカ、カナダ、ウルグアイ、チリに次いで5位となっている。（United Nations, 2018）

アルゼンチンは確かに、人的資本（成人識字率、期待就学年数と平均就学年数、総就学率で測定）や通信インフラ（インターネットへのアクセス、固定・移動ブロードバンド、電話など）の面では、同地域のいくつかの国と比較して明らかな優位性を示している。しかし、e-Participation（公共部門の情報の積極的または要求に応じた公開、市民の審議的関与、政策ソリューションの共同作成など）やオンラインサービス（公共サービスの設計と提供のための市民中心のアプローチの実施など）3の面では遅れている（国連、2018年）

4.戦略3：オープンデータの活用を図る（2020-2022）

デジタルガバメントで出来る膨大なデータを定型データ化し、活用する。

[Voluntary National Review 2021](#)

第4次国家オープンガバメント行動計画（2018-2023）

[CUARTO PLAN DE ACCIÓN NACIONAL de Gobierno Abiert](#)

わが国で2015年末に始まった近代化プロセスには、次のような主な目的があります。主な目的は、国家を国民のために奉仕すること、そして、国家と国民をつなぐことです。この枠組みは透明性が高く、機敏で緊密な管理に基づいたデジタル・インクルージョンと機会均等であります。主な改革の内容は；

- ・公開情報とオープンデータへのアクセス
- ・透明性と汚職撲滅のためにオープン・ジャスティスと市民参加
- ・州や自治体、立法府や司法府を巻き込んでオープン・ステイトの構築
- ・政府の3つの部門に関わる公共情報へのアクセスとナショナル・オープン・データ・ポリシーの策定

そして近代化政府長官が「ナショナル・オープン・ガバメント」の設立を正式決定しました。

2019年から炭化水素資源や鉱山資源の管理における重要事項に関する情報の公開、完全な検証、開示を通じて、採鉱産業の透明性と説明責任を向上させるための国際的な取り組みの[Extractive Industries Transparency](#)に参加しました。

[Extractive Industries Transparency timeline](#)

5.戦略4：データのAI利用（2019-2030）

オープンデータをAIに読み込む。

人工知能（AI）が効果的に社会の変化をもたらすために、以下のようなデジタルトランスフォーメーション（DX）環境を整える

AI戦略 2021.10.21

[ARTIFICIAL INTELLIGENCE NATIONAL PLAN](#)（2019-2029）

担当省：科学技術・生産革新省（Ministry of Science, Technology and Productive Innovation [\(MINCYT\)](#)

戦略目的 1

持続可能な開発目標（SDGs）にリンクした[国家開発目的](#)に貢献する。

戦略目的 2

アルゼンチンの産業界のさまざまな部門や政府レベルで AI の開発と導入に有利な条件を生み出し、AI 開発に関連する知識ベースの経済部門の統合を促進する。

戦略目的 3

人々の生活の質を高めるために、包括的で持続可能な AI の開発を促進する。

戦略目的 4

AI の開発と導入が社会にもたらす潜在的なリスクを最小化するために、倫理的・法的原則に合致した AI システムの設計のためのガイドラインを作成する。

戦略目的 5

AI を志向する人材や AI の技術的・科学的能力の開発を奨励し、官民における AI の基礎科学および応用科学の研究・開発・革新（R&D&I）の取り組みを促進する。

戦略目的 6

国内のエコシステムの発展のために、政府機関、研究機関、科学者、専門家、国内外の企業の間で、AI の連邦調整と連携を促進する。

戦略目的 7

科学技術、社会経済、政治環境、生産構造に影響を与えるこのパラダイムシフトにおいて、アルゼンチンを地域のリーダーとして位置づける。

[Argentina advances national AI plan](#) 2019

- ・ AI の開発に関しては、Oxford Insight 社の [2020 Government AI Readiness Index](#) によると、アルゼンチンは世界で 53 位、地域で 4 位となっています。
- ・ 国内で AI によって最も変革されるべき分野のひとつが農業です。
- ・ 第 4 次産業革命がもたらす新たな課題に AI 計画が立ち向かう準備をします。

6.戦略 5：5G-デジタル経済推進に向けた通信インフラ(2020-2030)

いつでも、誰でも、どこでも使える AI 社会基盤の作成

アルゼンチンでは 5G は見えない

[No 5G in sight for Argentina](#) 2021

通信省 [Enacom](#)

- ・ アルゼンチンは、5G ネットワークの開発において、近隣諸国のほとんどの遅れをとっています。[ブラジル](#)と[チリ](#)は 5G 専用の周波数オークションを進めていますが、アルゼンチンはまだ 5G 用の周波数割り当ての暫定的なスケジュールすら発表していません。
- ・ アルゼンチンは現在、5G のための低・中・高周波数帯の使用に関する技術的および利用可能性の分析を行っていますが、このプロセスは、隣国のコロンビア、ペルーなどの国ではすでにほぼ完了しています。
- ・ 6GHz 帯の周波数の一部または全部を免許のない使用（Wi-Fi）に供するかどうかや、プライベートネットワーク展開のために産業界に直接周波数を与えるかどうかなどの問題も議論されています。6GHz 帯の全帯域を Wi-Fi に割り当てることを決定したブ

ラジルやチリとは異なり、帯域の約半分を 5G 用に確保しようとする通信事業者からの圧力があります。

7.戦略 6 : Covid-19 に対応 (2020-)

コロナの緊急事態が AI との共生社会を開発する

[Supporting Colombia's COVID-19 Crisis Response](#)

コロンビアの DG の特徴

1. デジタルガバナメントの世界最初の事例 (OECD と協働)

[Digital Government Review of Colombia](#)

2. 豊富な資源を活用して産業を興し、格差是正を図る (UN+世界銀行と協働)

3. [United Nations Millennium Development Goals \(MDGs\)](#)

4. 麻薬産業を撲滅する (米国と協働)

[Integrated Country Strategy Colombia](#)